



明日はあるか

— 医者が教えてくれない

本当に健康になるための方法 —

約 35 年にわたりサプリメントの研究に携わる著者
ハワイ在住の鈴木ベンジャミン氏が、この著書の中で、
ピロール農法のことを書いてくださっています。

約35年にわたり自社ブランドで
商品を生み出し続ける研究者が、
病氣知らずの体を作るための
サプリメント
を徹底解説!!

医者に頼れば元気に暮らすことができるのか。薬は私たちを救ってくれるのか。

健康を守る秘訣は、実は
健康食品との付き合い方にあった——。

今日のこの貧困国家に、あなたに問いたい。

どのように生きるべきか、明日はあるか……と。

サバイバルのために、生き残るために、何を食べて、何を捨て、何を信じて、どんな人生を生きようとするのか。

人間にとって、ミネラルバランス (MB) とペーハーバランス (pHB) は健康の基本なのに、なぜか重要視されていません。例えば血液の酸化は、すぐさまいろいろな病気につながるし、逆に長期のアルカリ化は心臓病、腎臓病、膀胱炎や、時には生殖器官の機能減退につながるといった具合です。肉や乳製品中心の食事が骨粗しょう症につながるというのは、そうした食材が強度の酸化をもたらすからであり、pH バランスを保とうとするなら、実に一枚のステーキにはバケツ一杯の野菜サラダを同時に食べなければならないことになるのです。

風邪をひいた犬はエサを食べないし、鼻も乾いてしましますが、水だけ飲んで、翌日にはもう元気に走り回れるのは pH バランスが回復したから。私たちも安直に薬に頼らず、暖かい日差しと風通しの良い部屋で休んでいれば、pH バランスは回復するのです。

pH バランスの回復にはカルシウム、マグネシウム、カリウムなどのミネラルが必要ですが、日常の食材には決定的に不足がちなので、(本来なら豊かな土壌に含まれているミネラルを破壊し去った)現代人は、みんなミネラル欠乏症になってしまったのです。逆に言えば、これらミネラルの慢性的欠乏が pH バランスを狂わせ、その結果、様々な現代病を生んだと言えるでしょう。

ローマのバチカン宮殿の天井画に「アダムの誕生」というものがあります。レオナルド・ダ・ビンチのこの絵は、神が自分に似せて土で創った最初の人間に、指先から魂を送り込もうとしている様子を描いたものです。アダムという名の意味は「土」なのです。

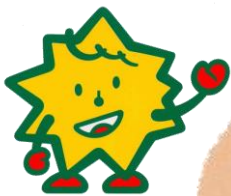
pH バランスといっても、ほとんどの人は正確にはその意味がわからないと思います。世の中にあるいろいろな健康本が売られていても、pH バランスという最も大切で最も基本的なことについて解説している本は、本屋さんの店頭でも見たことがありません。

そもそも pH バランスの「pH」という意味も知らずに、食を語り、栄養を語り、健康を批評している人がほとんどでしょう。せいぜい「7 が中性で、7 より少ない場合には酸性、7 以上はアルカリ性である」というくらいのも。大体、pH というのは「酸性食品」とか「アルカリ性食品」とかいう

食品の性質を表す記号だ、ぐらいにしか思っていないのです。

しかし、体液には体中の臓器が機能するために、各々に最適の pH 値を必要としています。唾液は pH6.4、胃液は pH1.2 です。言うまでもなく唾液は弱酸性であり、胃液は強酸性であることが必要なのです。腸にも腸液があって、これは 5.8 が最適。この pH が狂えば、便秘や下痢が起きます。尿は唾液と同じ 6.4、ついでに pH 値ではありませんが、血糖値も 90 と覚えておきましょう。

このように主要な臓器は、それぞれが異なる pH 値によって初めて機能するのです。これが pH バランスなのです。実はこの pH バランスは「健康のゴールドナンバー」としても使えます。暗記して覚えておくと、とても便利。街中で「これが食べたい」「これを一杯飲みたい」という衝動に駆られたら、この「健康のゴールドナンバー」を思い出すことです。たった 1 個のドーナツでも、これらの pH 値をたちまち変えるからです。唾液 6.4、胃液 1.2、腸液 5.8、尿 6.4、血糖値 90 です。これはロクヨン、イチニー、ゴーハチ、ロクヨン、キューマルというふうに唱えれば覚えやすいのです。その値が唾液、尿ともに pH6.4 というのが理想値であり、人間が食べ物から最大限の栄養を吸収している状態を示しているのです。



この著書の 70 ページ目にピロール農法のこと書かれています。

【食事の改善の工夫】

1. 主食

白米を極力やめる。白米は酸性食品の代表なので、食べすぎは病気のもと。主食は全粒穀物で、必ずオーガニック。できればピロール農法で話題のピロール米などは最高。弱アルカリ性だからである。

「明日はあるか」より抜粋

2016 年 11 月 29 日 第 1 刷発行

著者 鈴木ベンジャミン

1935 年函館市生まれ。58 年早稲田大学第一法学部卒業。

総合商社食品開発課長、日米合弁企業マーケティング担当取締役を経て、ドイツ企業メリタジャパン代表取締役、社長を歴任し、業界トップを達成。1988 年米国エルダース栄養科学研究所を設立して 30 年。独自ブランド「M10・8」シリーズのサプリメントを開発。米国栄養薬理学会会員、栄養学博士。
ホームページ : <http://www.eldersinternational.org/>

ピロール米のお問い合わせは下記まで・・・

(株)エルゴン TEL 0778-29-1670 FAX 0778-29-1671